

## 学校教育目標

意欲に燃え、自ら学ぶ生徒【自学力】

規律を守り、責任を果たす生徒【責任感】

剛健で、実践力のある生徒【実践力】

## 受け継いだバトンは新たなゴールに向かって ～ 理想の学校像・生徒像・リーダー像を考える～

8月19日からスタートした2学期も、早いもので本日終業式を迎えました。授業日数86日、熊騒動やインフルエンザによる心配もありましたが、予定していた教育活動を無事に終えることができました。今年も残暑の厳しい始まりでしたが、二戸まつり、地区・県新人戦等で地域を盛り上げ、三葉祭で新たな文化を創造するなど、充実した2学期だったと言えます。

2学期後半には、来年度に向けた活動がスタートしており、3年生からバトンを受け継いだ1・2年生の頑張りが輝いています。

### 「リーダー研修会」～理想とする学校像・リーダー像は～

生徒会役員選挙で当選・認証された新リーダーの研修会が12月3日（水）に開催されました。研修のはじめに校長講話があり、「幸福の岡」・「3本柱」の話をしました。

「福岡」という地名は、九戸政実の乱の後、「この土地の繁栄と福」を願って名付けられたこと、福岡高校・福岡中学校を指す「福陵」という名前には「幸福の岡」という意味が込められていることを話しました。（どちらにも諸説あります）

また、福岡中生徒会にはかつて「3本柱」という呼び方があって、「生徒会本部＝頭脳」「応援団＝エンジン」「JRC＝理想の旗印」とそれぞれに特別な意味が込められていました。

現在もその考えは残っていると思いますが、今は三大文化「応援・JRC・合唱」という言葉が、生徒会全員で取り組む大事な活動を示すように進化しています。

生徒の皆さんには、福岡中学校の生徒会の一員であることに誇りを持ち、生徒会スローガン・理想の生徒像・理想の学校像の実現を目指してほしいと思います。理想と言えば（以下参照）

### 心を磨き鍛える「応援団冬季特訓」開講

冬の風物詩ともいえる「応援団冬季特訓」が、12月2日の開講式を皮切りにスタートしました。今年は、講師として、旧応援団長である新毛公生先生にお越しいただきました。当時の応援団の役割や経験談の後に、「時代の変化とともに変えるものは変えつつ、皆さんが考える応援団を作りたい」という激励をいただきました。また、福岡小学校長を務められていた時の児童が、大きく成長した姿に感激していらっしゃいました。

厳冬期の寒い朝に、声出し・ランニング・筋力トレーニング・手振りの厳しい特訓に取り組む姿に、応援団がしっかりと受け継がれていることを感じ、とても嬉しく思います。

#### ＜団訓＞

- 一 強健なる精神をもってことにあたる
- 一 福中生の模範たるべき行動をとること
- 一 協力・団結を旨とすること



### 「あゝ理想も高きわが生徒会」♪～♪♪

生徒総会で歌われる「生徒会歌」は、昭和41年に、当時の生徒会が歌詞を考え、音楽担当の矢野勝二先生が作曲した曲です。今日にいたるまで60年間歌い継がれています。昔は、体育祭の開会式でも歌わっていましたが、生徒会のテーマ曲として卒業生の心に残るメロディーになっているようです。作曲をした矢野先生の訃報が11月に届きました。矢野先生は、晩年、生徒会歌が今でも歌われているのか気にされていました。矢野先生は、私が教員駆け出しの頃にご指導いただいた先生でもあります。

感謝の気持ちを添えて、「素敵なお歌い継がれています」と弔辞で伝えていただきました。矢野先生は、私が教員駆け出しの頃にご指導いただいた先生でもあります。

感謝の気持ちを添えて、「素敵なお歌い継がれています」と弔辞で伝えていただきました。矢野先生は、私が教員駆け出しの頃にご指導いただいた先生でもあります。

# 祝 文部科学大臣賞～キャリア教育団体の部・福岡中PTA～

前号（12月1日発行）で紹介したPTA主催の「大人に学ぶキャリア講演会」の実績と教育的価値の高さが評価され、文部科学省によるキャリア教育表彰・団体の部で福岡中学校PTAが文部科学大臣表彰に決定しました。PTA会員の皆様にお祝いと御礼を申し上げます。表彰式の様子を次号で紹介する予定です。

12月21日(日)「カシオペアクリスマス in なにわーと」において、3年生有志による合唱が会場に響き渡りました。曲は、「いざたて戦人よ」「ほらね、」に続き、クリスマスマドラー、「Oh Happy Day」、最後はアンコールに応えて校歌を披露しました。

会場はとても温かい空気に包まれ、幸福な時間をそれぞれに過ごしました。  
地域貢献を大切にする福中生。今後の活躍も大いに期待されます。

3年生の発表の後に、本校職員・生徒が中心となって活動している「九戸党」のパフォーマンスも披露されました。今回は、セリフが全編英語でさらにレベルアップした内容に引きつけられ、驚きと感動の連続でした。

イベント主催者をはじめ、二戸を大切に思う多くの出演者によって、この日二戸は、とても温かな一日になったことと思います。We Love Ninohe ❤



## 2年生：避難所運営ゲーム(HUG)

12月5日(金)の5・6校時に、岩手県防災アドバイザーの塚本さんをお招きし、避難所運営ゲームを行いました。3年生のHUTの前段階に当たるもので、避難所運営の疑似体験を通して知識・判断力・応用力を養うものです。

生徒からは、「いろいろな要望や状況の人にできるだけ応える努力をすることの大変さがわかった。」「お互い辛さがあるからこそ、互いに支え合っていかなければならないと思った。」等の感想が挙げられました。



## 1年生：ASUKAモデル

11月27日(木)の5校時に、消防署の方々から、救命救急訓練をご指導いただきました。人が倒れたときに、[助けを求める][心肺蘇生を行う][消防署へ通報する]を迅速にできるように訓練を行いました。「いつ起ころるかわからないので、そのときに対処できるように忘れないで生活したい。」という感想が多くみられました。救える命を大切にしましょう。



## 税の表彰 & バスケットボール全国大会

3年生・山本桃香さんが「税の作文コンクール」で二戸市長賞に輝きました。



3年生・櫻場夕惺さんが、愛知県で行われる「第14回U15 クラブバスケットボールゲームス」に「OWLS U15」の一員として出場します。活躍を心より応援しています。

## 校歌に愛着と誇りをもって

1年生でクラス対抗「校歌コンテスト」が開催されました。講評のときに「みなさんは校歌が好きですか？」

と質問したところ、多くの生徒が「好きです」と大きな声で言ってくれたのが、とても嬉しかったです。

昭和22年に創立してから10年以上校歌が存在しなかったそうです。そのことを寂しく思った生徒と職員が、昭和31年に校歌を作ることを決定しました。校歌をつくるときには、いろいろな要望が出されました。 「地名」「雄大さ」「団結」「信念」「感激」「逆境に耐えるたくましさ」「10年後20年後に中学校時代の情熱がよみがえる歌」等、数々の要望に応えて完成したのが福中の校歌です。

伝統ある過去から未来に向かって、この学校に誇りを持ち、仲間と力を合わせて前に進んでいく力強さが表現されていると思いませんか。この校歌は、きっと多くの人の心の中に息づいているに違いありません。生徒・保護者の皆さん、どうぞこの校歌に愛着と誇りをもって、いつまでも歌い続けてください。

保護者の皆様には、本年中の学校に対するご理解とご支援に感謝を申し上げます。どうぞ良いお年をお迎えください。